

1 センターの目指す姿

『県内建設産業の持続的な発展』

将来にわたり地域社会を支える建設産業の持続的・安定的な発展



【R4.4.1センター開所式】

2 重点取組方針（3つの柱）

- I [人材確保] 高校生・大学生等と企業のマッチング支援
- II [イメージアップ] 建設産業で働く魅力の発信によるイメージアップの推進
- III [経営基盤の強化] 県内建設企業における経営基盤強化への支援

3 目標〔新秋田元気創造プラン（2022～2025）〕と実績

指標	実績（下段：うち女性）				目標				出典 秋田労働局 「新規高校卒業者 職業紹介状況」
	2019	2020	2021	2022 (2022.11末)	2022	2023	2024	2025	
県内建設業に就職した新規高校卒業者数(人)	131 (19)	152 (26)	180 (21)	145 (25)	150	150	150	150	

主な成果

新規高校卒業者の就職者数は、150人程度を確保。女性についても20人台で推移。2023.3卒については、前年に比べ、県内就職希望者が減少(前年同期比▲9.2%(129人減))している影響もあり減少しているが、概ね目標を達成する見込み。

4 取組状況

I 人材確保



【高校での企業説明会】

主な取組事項と目的

①**高校生・大学生等と企業マッチング**
建設企業が高校等に出向き、自社の特徴や強み、仕事内容、やりがい等を直接生徒・学生に伝え、入職を促進する。

②**建設ICT人材の育成**
土木・建築系の生徒・学生に、建設ICT活用工事の現場見学会や3次元測量研修の機会を提供し、ICT技術の理解を促進する。

①**建設企業出前説明会**
開催：11回(7校11学科)
生徒・学生：480人 建設企業：63社
実施校：秋田高専、男鹿工業(設備、電気、機械)、秋田工業(土木、建築)、能代科学技術(建設、電気)、金足農業、五城目、大館桂桜(電気)

②**3次元測量研修**
開催：4回
実施校：秋田高専、能代科学技術、秋田工業、金足農業

令和4年度の取組状況

【出前説明会(金足農業)】 【3次元測量研修(座学・実習)秋田工業】

①工業高校の土木・建築系学科の2年生を中心に、電気、設備、機械、普通科等の生徒に対して、県内建設企業が自社の特徴や若手社員の取組状況等を説明。

②現場見学会や建設ICT工事の基礎となる3次元測量研修の座学やドローン操縦体験を通じて、従来型工事とICT活用工事の違い等を説明したほか、各地域の建設企業がICTを活用し効率化していることを周知。

II 建設産業のイメージアップ



【インフラ資産のPR】



【先輩社会人の紹介】

③**県内のインフラ資産の魅力のPR**
小中学生や保護者等に、県内各地の代表的なインフラ資産を紹介し、建設産業への理解を深め、将来的な入職促進につなげる。

④**建設産業で働く先輩社会人の紹介**
高校生や保護者等に、将来の目標となる先輩社会人(ロールモデル)を紹介し、建設産業への入職を促進する。

⑤**秋田県建設企業ガイドブックによる情報発信**
高校生や保護者等に、県内建設企業の特徴(給与、休暇、福利厚生等)、労働環境等を広く知ってもらい、入職を促進する。

⑥**けんせつ女子PRイベントの開催**
小中学生や保護者、一般県民等に、建設産業は女性が活躍できる業種であることをPRし、建設産業への理解を深める。

③**「未来へ伝えたい秋田のインフラ50選」の選定**
「学べる」、「役に立つ」、「愛される」、「映える」、「ワリワリ」等の評価項目により50箇所を選定。
ダム：4 橋梁：5 トンネル：5 農業施設：8 建築物：14 その他：14(発電、鉄道、防波堤等)

④**「秋田をつくる建設人」の作成・配布**
10,000部作成。全ての高校1年生等に配布。
〔先輩社会人(12人)の内訳〕
年代別：20代 5人 30代 5人 40代 2人
職種：技術8人(施工管理、設計、測量) 技能3人(オペレーター、大工、板金) 事務1人

⑤**「秋田県建設企業ガイドブック2022」の作成・配布**
1,000部作成。高校、大学等に配布。
掲載企業：167社(R3：132社)

⑥**「けんせつ女子フェスタ2022」の開催**
日時：10月22日(土)10:00～15:00
会場：イオンモール秋田 セントラルコート 来場者数：約600人
内容：女性技術者パネル展示、生徒作品展示、ドローンシミュレーター操縦体験、重機コンでお菓子のつかみどり、未来の街づくり(LEGO)

【未来へ伝えたい秋田のインフラ50選】 【秋田をつくる建設人】

【けんせつ女子フェスタ2022】 【秋田県建設企業ガイドブック】

③教育、建設(土木、建築)、観光、報道の各分野から6名で構成する選定委員と秋田高専の学生の意見等を踏まえ、インフラ資産を選定・公表。今後、2月中旬に小中学校等へPR用のリーフレットを配布予定。

④建設産業団体と連携を図り、地域バランスを考慮の上、年代別、職種別に先輩社会人を選定し、PR用冊子を作成・配布。

⑤昨年度までは、総合建設業(土木、建築)の企業等を対象としていたが、建設産業団体と連携を図り、今年度は専門工事業(電気、設備、設計・測量等)の企業まで対象を拡大し、作成・配布。

⑥想定(500人)を上回る来場があり、アンケート結果から各種展示や体験コーナーを通じ、建設産業で活躍する女性の認知度が向上。

III 経営基盤の強化



【経営改善セミナー】

⑦**経営改善セミナーの開催**
建設企業の経営者や関係団体を対象に、建設産業の経営改善や国、県等の企業支援施策を紹介するセミナーを開催し、各企業の経営基盤強化に向けた取組を支援する。

⑦**経営改善セミナーの開催**
日時：9月20日(火)14:15～15:30
会場：秋田キャッスルホテル 来場者数：約60人
内容：○建設産業の経営改善
○国、県等の企業支援施策の説明
○個別相談

【経営改善セミナー(講演・企業支援施策説明)】

⑦建設企業の経営者や関係団体を対象に、経営改善や国、県の補助事業など、企業支援施策を説明するセミナーを開催したほか、各種施策に対する個別相談を実施。

5 今後の取組の方向性

令和4年度に実施した各種取組の継続を図るほか、「未来へ伝えたい秋田のインフラ50選」など、建設産業のイメージアップの更なる充実を図る。